

日蓮聖人遺文辞典正誤表

昭和六十年十二月九日現在

頁	段	行	項目名	誤	正	備考
三一六	4	20	げんにちおう【幻日王】	『撰時抄』(一〇五二頁A)		削除
三三六	1	33			こうせん【塙塹】塙は、かきね、城の垣。塹は、あな、ほり。『太田殿許御書』に「涓(けん)聚りて塹を破るが如く、民の愁ひ積りて国を亡す是也」(八五四頁A)とある。水滴も集まれば、濠(ほり)を埋めつつみを壊(やぶ)る。さらに城の濠を埋め城壁を破り、城をあやうくする力を持つように、民衆の苦悩も積もれば、国を亡ぼすのである。法華経を軽蔑し、国中が謗法を重ねていることに対する戒め。	新加 見出し語変更 に付き移動
三六〇	4	14	ごじょうのぼうもん【五帖の坊門】	この奥書の場所が、京都のどこを指すか	この奥書の場所が、京都のどの寺坊を指すか、	訂正
三八六	4	7	こんぼんちゅうどう【根本中堂】	『比叡山』	『比叡山寺』	訂正

一一七八	4	19	りっしょうあんこく ろん【立正安国論】	同年五月二二日である。	同年五月二六日である。	訂正
一一六二	2	1			ようにちおう【幼日王】『撰時抄』 (一〇五二頁A)に見える。↓ げんにちおう(幻日王)	新加
一一六一	3	20	ようせん【壩塹】	ようせん【壩塹】	こうせん【壩塹】	見出し変更につき、 この項目移動
一一四五	3	15	やすめことば【やす め言】	やすめことば【やす め言】	やすめことば【やすめことば・や すめ言】	見出し訂正
七五六	1	26	ちんりん【沈輪】		『一谷入道御書』に「沈輪」(九 九〇頁C)と見えるのも同意。	末尾挿入
七五六	1	24	ちんりん【沈輪】	ちんりん【沈輪】	ちんりん【沈輪・沈輪】	見出し訂正
九五二	4	33	びょうぶがうら【屏 風カ浦】	善福寺 善福寺市	善福寺 善福寺市	訂正
五五二	2	32	しょうにん【証人】	宝塔世界	宝浄世界	訂正
五四七	1	1	じょうたいぼさつ 【常啼菩薩】	『小品般若経』二八 卷常啼(薩陀波倫) 品、二九卷法尚	『大品般若経』二七卷常啼(『小 品般若経』は薩陀波倫)品、法尚	訂正、削除
五二四	3	2	じゅんぎょう	じゅんぎょう(生没 年未詳)【順暁】	じゅんぎょう【順暁】(生没年未 詳)	入れ換え

頁	段	行	項目名	誤	正	備考
一一九二	2	26	ろくないごしょ【録 内御書】	浅井要麟	りょうこう【了行】 →りょうぎ ょう(了行)	新加
一二二二	4	29	ろくないごしょ【録 内御書】	山川智応	山川智応	訂正
一二二二	二	30	ろくないごしょ【録 内御書】	山川智応	浅井要麟	訂正

削 除 ↓ 語句・文章の一部を削除すること。

抹 消 ↓ 見出し・解説の全体を削除すること。

挿 入 ↓ 語句・文章を挿入すること。

新 加 ↓ 新たに項目・解説を追加する（見出し変更による移動も含む）。

移 動 ↓ 訂正などによって本来の場所へ移す（見出しの変更などで、見出し・解説の全体を移す）。

訂 正 ↓ 文字・語句・文章などの誤りを正す。

入れ換え ↓ 文字・語句・文章などの順序を入れ換える。

ツ ム ↓ 文字・語句間の空きを詰める。

# 日蓮聖人遺文辞典索引正誤表

昭和60年12月9日現在

頁	段	行	誤	正	備考
38	左	42		こうせん(塙塹) … 336	新加(G)
79	右	2	だいぼんほんにゃきょう (大品般若経) ……690、 708,1066	だいぼんほんにゃきょう (大品般若経) ……690、 547,708,1066	追加
84	右	21	ちんりん(沈輪)	ちんりん(沈淪・沈輪)	訂正
124	左	9	やすめことば(やすめ言)	やすめことば(やすめこ とば・やすめ言)	訂正
125	右	44	ようせん(塙塹) …1161		抹消
126	右	1	ようにちおう(幼日王) …………… 316	ようにちおう(幼日王) …………… 316・1162	追加(G)
128	右	1		りょうこう(了行) …… ……………1192	新加(G)

- 削 除 → 語句・ページなどの一部を削除する。
- 抹 消 → 見出し語・ページの全てを削除する。
- 追 加 → ページを追加。
- 新 加 → 新たに見出し語・ページを追加する(見出し語変更による移動も含む)。
- 移 動 → 訂正などによって本来の場所へ移す(見出し語の変更などで、見出し語・ページの全体を移す)。
- 訂 正 → 見出し語・ページの誤りを正す。
- 入れ換え → 見出し語・ページ等の順序を入れ換る。
- ツ め → 見出し語・ページ間の空きを詰める。
- (G) → ページがゴシック文字であることを示す。